



MEX 金沢 2017 (第 55 回機械工業見本市金沢)

～技術から つながる広がる 夢・未来～

会 期：5月18日(木)～20日(土)
開場時間：10：00～17：00
会 場：石川県産業展示館3・4号館
出展者数：218社・団体 658小間

「記念講演会」開催

日 時：平成29年5月17日(水) 13：30～15：00
会 場：石川県地場産業振興センター新館1階「コンベンションホール」
講 師：遠藤 功 氏 (㈱ローランドベルガー会長)
演 題：現場力を鍛える
定 員：200名
※お申込み等は、MEX金沢開催事務局(TEL076-268-0121)までお問い合わせ下さい。

◆セミナー (会場：4号館「特設会場」)

開催日時	演 題	講 師
5月18日(木) 13:30～15:00	省エネルギーへの取組み ～購入電力半減活動～	コマツ生産本部粟津工場 生産技術部長 林 譲 二 氏 【共催：日本機械学会北陸信越支部】
5月19日(金) 13:30～15:00	産業用ロボット市場の 現状と最新動向	(一社)日本ロボット工業会 システムエンジニアリング部会長 (三菱電機㈱機器事業部主席技監) 小 平 紀 生 氏
5月20日(土) 13:30～15:00	昭和の取り組む金属チタン加工製品 の開発と技術的課題	㈱昭和 代表取締役社長 高 安 輝 樹 氏

◆ワークショップ (製品説明会) (会場：3・4号館)

会期中、出展者によるワークショップを開催します。

*セミナー、ワークショップを聴講ご希望の方は、MEX金沢2017ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>

◆特別企画「技能五輪選手の技に学ぶ」(会場：2号館「特設会場」)

㈱日立製作所インダストリアルプロダクツビジネスユニットより技能五輪全国大会メダリスト等をお招きし、競技職種：旋盤・機械組立ての実演をしていただきます。選手の作業に臨む態度や動作等を見学して、モノづくり能力向上の機会を提供します。

5月18日(木)・・・高校生対象(一般も可)

【開催時間】①11：00～12：30 ②14：00～15：30(各90分程度)

【実演内容】旋盤：技能検定2級課題、機械組立て：技能検定課題

5月19日(金)・・・高校生対象(一般も可)

【開催時間】①11：00～12：30 ②14：00～15：30(各90分程度)

【実演内容】旋盤：技能検定2級課題、機械組立て：技能検定課題

5月20日(土)・・・一般対象(学生も可)

【開催時間】①10：30～12：30 ②13：30～15：30(各2時間程度)

【実演内容】旋盤：技能五輪級課題、機械組立て：技能五輪要素

*「技能五輪選手の技に学ぶ」お申込み等はMEX金沢開催事務局
(TEL 076-268-0121)までお問い合わせ下さい。

平成 29 年度 石川県予算に対する要望

- ◆平成 29 年 1 月 19 日(木)、澁谷会長ほか副会長・役員 6 名が谷本知事へ平成 29 年度予算に対する要望を行い、人材確保・育成の支援や機械設備貸与制度の充実等を求めました。

石川県予算に対する要望	
・・・「石川県産業成長戦略」及び「いしかわ創生総合戦略」による実効ある取組み・・・	
1 産業人材の確保・育成のための支援	
① 工業系高校の募集定員の拡充	
② 学生 U ターン・移住等の促進	
③ 新高度専門人材の確保・育成の強化	
2 新延払による機械設備貸与制度の充実	
① 利子補給の拡充	
② 貸与原資の確保	
3 新規需要の獲得に向けた新製品・新技術開発や販路開拓、新分野展開の支援	
① いしかわ次世代産業創造ファンド助成事業の拡充	
② 国内販路開拓（受注開拓懇談会、技術提案型展示商談会の開催など）	
③ 炭素繊維、医療・介護機器、航空機、環境・エネルギー等分野への継続支援	
④ 新規受注の獲得に向けた企業連携体構築及び販路開拓への支援（青年部会）	
4 第 55 回 MEX 金沢（機械工業見本市）への支援	
5 東南アジア・中国等海外販路開拓への支援	
6 金沢港の利用促進への支援	

◆平成 29 年度石川県当初予算（商工労働部関係）の概要

1 ④就職する高校生の県内就職に向けた取り組み（企業ガイダンスの開催 180 社）・・・	6,900 千円
2 ④U ターン就職のための活動への支援（保護者向けセミナー、合同企業説明会等）・・・	13,400 千円
3 進学する高校生の U ターン就職に向けた取り組み・・・	4,000 千円
4 ④産業競争力強化に向けた高度専門人材の獲得・・・	130,000 千円
企業の新事業展開等を担う U ターン人材の獲得に対する助成	
5 ④設備貸与制度の拡充	
④新人手不足に対応した省力化設備導入に対する利子補給制度の創設（0.25%を追加(最大 1.75%)）	
6 いしかわ次世代産業創造ファンドによる産業成長力強化の取り組み支援・・・	200,000 千円
④優れた基幹技術の内製化や加工領域拡大による新分野進出（次世代ファンド）	
7 技術提案型展示商談会の開催・・・	12,000 千円
8 企業連携体構築及び販路開拓への支援（青年部会）・・・	15,000 千円
9 東南アジア・中国での商談会及び見本市への出展支援・・・	9,500 千円
10 ④金沢港機能強化整備計画（仮称）の策定・・・	18,000 千円

平成 29 年新年会員懇親会等開催

開催日：平成 29 年 1 月 26 日(木)

会 場：金沢東急ホテル

会員及び来賓の計 290 名が参加し、「平成 29 年新年会員懇親会」を開催しました。

澁谷会長の「予断を許さない世界情勢ではあるが、多様なモノづくり企業の集積地として独自技術の継承とニッチトップ企業の更なる創出・育成に尽力し、業界の更なる飛躍を目指したい」との挨拶で開会し、谷本正憲知事、山野之義金沢市長、安宅建樹石川県商工会議所連合会会頭から祝辞をいただいた後、宮下正博県議会議長の発声で乾杯を行い開宴いたしました。

なお、新年会員懇親会に先立ち、「平成 28 年度第 2 回理事会」を開催し、「平成 29 年度事業計画等」を決議いたしました。



工業系高校優良卒業生表彰式

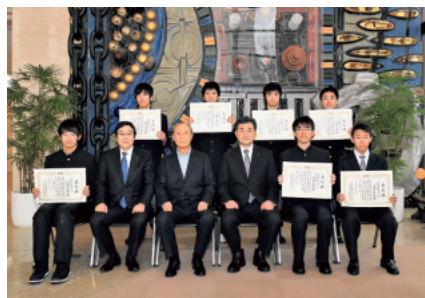
石川県高等学校工業系学科を優秀な成績で卒業し、県内の鉄工機電業界に就職する「工業系高校優良卒業生表彰式」を2月17日(金)石川県鉄工会館にて開催しました。

(石川県職業能力開発短期大学校は3月17日(金)に開催)

表彰式では湊谷会長から一人一人に表彰状と記念品が授与され、石川県立工業高等学校機械システム科の中村陽平君が受賞者を代表してお礼の言葉を述べました。

●受賞者は次のみなさん

学 校 名	学 科	氏 名
石川県立大聖寺実業高等学校	電子機械科	岩倉弘晟
石川県立小松工業高等学校	機械科	村井喜生
石川県立工業高等学校	機械システム科	中村陽平
金沢市立工業高等学校	機械科	山本一希
石川県立金沢北陵高等学校	総合学科	高井優翔
石川県立羽咋工業高等学校	電子機械科	中村怜王
石川県立七尾東雲高等学校	電子機械科	高崎丈也
石川職業能力開発短期大学校	電子情報技術科	森下駿平
〃	生産技術科	中村 颯



工業系高校へ出張講話

開催日：平成29年2月22日(水)

会 場：金沢市立工業高等学校

講 師：(株)北都鉄工 生産本部技術部 桑山 友梨 氏
〃 生産本部鉄構工事部 亀田 健史 氏

工業系高校生の県内就職率を増加させることを目的に、就職を意識し始める2年生を対象に、現在モノづくり企業で働く工業系高校卒業生が、働くことの楽しさなどを伝える職業講話を行いました。

2年前に工業高校を卒業し、現在、(株)北都鉄工生産本部鉄構工事部に所属する亀田健史さんは、橋を架ける現場での施工管理の仕事について紹介され、技術者として働くことの楽しさを話されました。

生徒からは、年齢も近い先輩から実際に就いている仕事についての話を聞き、「自身の今後を考える良い機会となった」などの声が聞かれました。



医療健康機器研究会

開催日：平成29年2月21日(火)

会 場：石川県鉄工会館

テーマ：医療機器業界の現状

講 師：久保田 博南 氏

(ケイ・アンド・ケイジャパン(株)代表取締役)

参加者：23名

今年度第3回目の研究会を開催し、久保田アドバイザーより「医療機器業界の現状」と題して事例からみた課題と展望について、ご講演をいただきました。講演後、メンバー企業より各社の取り組みと実績の紹介をしていたき、引き続き意見交換を行いました。

なお、事務局より今期の事業実績と会計報告を行った後、平成23年4月に開始し、6年間の活動を行ってきた「医療健康機器研究会」は今期をもって終了し、新たに来期からスタート予定の「医療介護支援機器」を中心とする活動計画の説明を行い、引き続きの協力方をお願いしました。



ビジネスサポートスクール（第1回）

開催日：平成29年2月23日(木)

会 場：石川県地場産業振興センター第2研修室

テーマ：平成29年度国・県の主要事業、各支援機関の取組み・支援策等について

講師・演題

- (1) 平成29年度県予算（商工労働部関係）と経済産業省関連の予算について

石川県商工労働部産業政策課長 石山 裕二 氏

- (2) 中小機構の経営支援施策について

中小機構北陸本部 経営支援課長 早川 光明 氏

- (3) 日本政策金融公庫の経営支援策について

日本政策金融公庫金沢支店

中小企業事業統括課長 浅井康一郎 氏

- (4) 商工中金の経営支援施策について

商工組合中央金庫金沢支店次長 鈴木 清輝 氏

参加者：50名

石川県の平成29年度の新たな産業振興策及び経済産業省関連予算の紹介と各関係機関の取組み事業や金融支援策等について具体的な説明をいただきました。



ビジネスサポートスクール（第2回）

開催日：平成29年3月22日(水)

会 場：石川県地場産業振興センター第5研修室

テーマ：現状の雇用（働き方）を考える～働き方革命～

講 師：内田 裕子 氏（経済政策シンクタンク ハーベイロード・ジャパン副代表）

参加者：60名

日本の人口が2015年をピークに減少は避けられない事で、労働人口の減少を女性及び高齢者の活用によって補う事が寛容であり、そのため働き方を変える、相反して生産性を向上するために経営者は何をすべきか。これからは人材が会社の財産であり「育てた社員を辞めさせない」、従業員は十人十色なのでトップがそれを理解して適材適所で成果を出し、正当な評価をすることが大切であると話されました。



環境講演会

開催日：平成29年3月9日(木)

会 場：金沢東急ホテル

テーマ：国内外の環境ビジネスの概況と可能性

講 師：高島 由布子 氏（株三菱総合研究所 主任研究員）

参加者：50名

世界及び日本での環境ビジネスの市場動向について詳しくお話しいただき、非常に参考となりました。

特にトピック情報で、適応策ビジネスの可能性の説明では、気温上昇が避けられない状況下、これに伴う各種の現象（異常気象、健康被害、農業被害等）は、どれもこれからの大きな環境ビジネスのファクターだと再認識いたしました。



DI調査結果（平成29年1-3月期）

概況総括：『全般的に好調を維持しているが、人材確保が大きな課題となっている。』

【調査概要】

1. 今期（平成29年1-3月期）の業況調査DI12項目では、プラスDIは「売上高」14.2（前回15.9）、「収益状況」7.1（前回3.5）、「資金繰り」1.8（前回▲0.8）、「操業率」19.2（前回6.0）、「受注残」0.7（前回▲2.4）、「生産設備」18.9（前回6.3）、「来期受注」13.5（前回7.7）の7項目（前回5項目）となった。

2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、

(1) 景況感を端的に表す「売上高」14.2（前回15.9）は、若干数字は下がっているが、前期に引き続き好調である。特に建設機械関連が増加している。

「収益状況」7.1（前回3.5）、「資金繰り」1.8（前回▲0.8）、「取引条件」0.0（前回▲0.4）の3項目は引き続き改善した。

一方で、「原材料単価」▲47.0（前回▲20.3）は、資源価格の回復や需要増等の影響により、大きく上昇した。

(2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」19.2（前回6.0）、「生産設備」18.9（前回6.3）の2項目は、いずれもプラスが進み、前期に引き続き、仕事量に応じた人員の確保が厳しい中で時間外の対応が増えている。また、生産設備の不足感も大きくなっている。

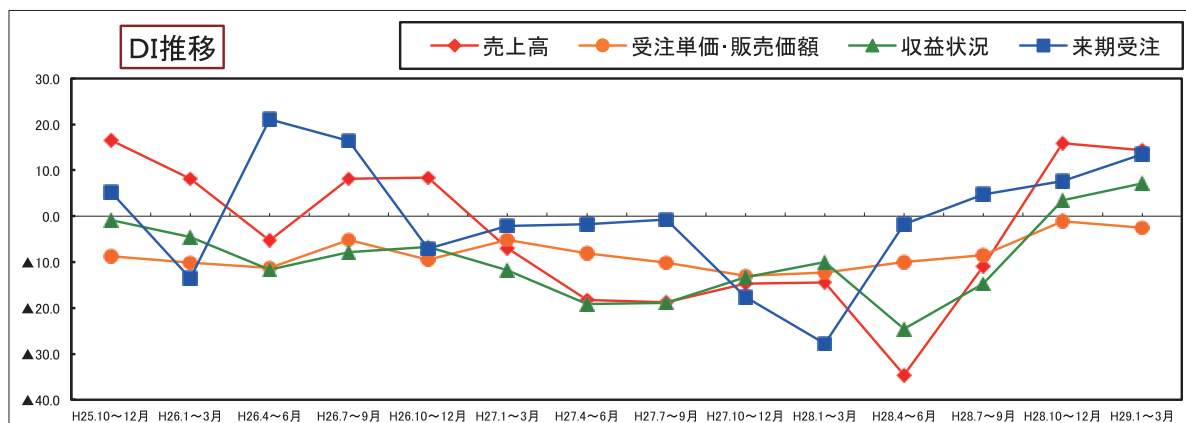
3. 来期については、「来期受注」13.5（前回7.7）、「来期採算」▲0.7（前回▲6.2）、「来期資金繰り」0.0（前回▲0.8）と3項目ともに改善している。

4. 「企業経営上の悩み」については、これまで4割強あった「受注不安定」29.9（前回43.0）が大きく後退し、「人材不足」が42.1（前回34.0）と4割を超えた。（「人材不足」が4割を超えるのは平成3年7-9月期以来となる。）

5. 今回の調査では、前期に引き続き全般的に好調である。特に建設機械関連は中国等の需要増や排ガス規制に関連して仕事量が増えている。

一方で、年明け以降、県内製造業は全般的に仕事量が増加しており、人材の確保が経営上の悩みとして大きくなってきており、「働き方改革」における長時間労働の問題と労働生産性の向上との両立が益々経営上の課題となってきている。

また、来期についても景気の持続が期待されてはいるが、米国新政権の経済政策、為替の動きなど、依然として先行きの不透明さは続いている。



平成29年度 研修スケジュール(予定)のご案内

○きでんスクール

No	開催日	テーマ	定員
1	4月20日(木)	新人教育(5S活動の基本)	30
2	4月21日(金)	中堅管理者教育	30
3	4月28日(金)	組織活性化のための「報・連・相」(小松開催)	20
4	6月16日(金)	組織活性化のための「報・連・相」(金沢開催)	20
5	7月14日(金)	部下指導に活かすコーチング(金沢開催)	20
6	7月20日(木)～21日(金)	ISO9001内部品質監査員養成講座	20
7	8月25日(金)	新「働き方改革」実現のために	30
8	9月15日(金)	製造現場で進めるコスト改善	30
9	10月13日(金)	設備保全	30
10	11月17日(金)	なぜなぜ分析でクレーム撲滅	30
11	12月1日(金)	部下指導に活かすコーチング(小松開催)	20
12	12月15日(金)	安全活動の進め方	30
13	1月19日(金)	ムダの発掘と改善	30
14	2月16日(金)	ヒューマンエラーとポカミス対策	30
15	3月16日(金)	ネクストリーダー研修	30

○技能継承スクール

No	開催日	テーマ	定員
1	4月13日(木)～14日(金)	半自動アーク溶接実践技術(各種姿勢編)①	10
2	4月25日(火)～27日(木)	機械図面の見方①	30
3	4月27日(木)～28日(金)	TIG溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)①	10
4	6月7日(水)～9日(金)	機械図面の見方②	30
5	7月5日(水)～7日(金)	精密測定技術(精度管理編)	12
6	7月13日(木)～14日(金)	生産現場で使う品質管理技法(Excelで学ぶQC)	15
7	7月13日(木)～14日(金)	TIG溶接実践技術(ステンレス鋼板材編)②	10
8	7月18日(火)～20日(木)	マイコン制御システム開発技術(Arduino編)	10
9	7月26日(水)～28日(金)	有接点シーケンス制御の実践技術	10
10	8月1日(火)～3日(木)	アーク溶接の基礎	10
11	8月22日(火)～25日(金)	フライス盤加工技術(エンドミル編)	10
12	8月23日(水)～25日(金)	有接点シーケンスによる電動機制御の実務	10
13	8月24日(木)～25日(金)	半自動アーク溶接実践技術(各種姿勢編)②	10
14	8月29日(火)～9月1日(金)	旋盤加工実践技術(トラブル防止編)	12
15	9月12日(火)～15日(金)	旋盤の高精度加工技術	12
16	9月20日(水)～22日(金)	ドリル研削実践技術	10
17	10月26日(木)～27日(金)	新生産現場の計測器管理実践	10
18	11月14日(火)～16日(木)	機械加工部品の測定・検査技術	12

○技術セミナー

No	開催日	テーマ	定員
1	5月26日(金)	生産管理概論(生産管理の役割)	50
2	6月2日(金)	鋳物概論(鋳物の歴史、役割、生産と工程)	50
3	6月20日(火)	原価管理活動(原価管理の手法)	50
4	6月30日(金)	溶接概論(溶接法の種類、施工管理)	50

※ホームページでもご覧いただけます。

URL: <http://www.tekkokiden.or.jp>

青年部会だより

「企業間連携による一貫生産体制の構築」事業の勉強会として、2月15日(水)に伊藤忠マシンテクノス(株)・正井本部長にお越しいただき、高松機械工業(株)を見学し、来年度に向けての製品化についての可能性を探りました。

また、3月3日(金)にはITを活用した「ものづくり」工場である三菱電機(株)名古屋製作所とシステムインテグレーターで既に成功している(株)バイナスを見学し、企業間連携の可能性を探りました。

■「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に会員2社が選定されました

(株)アイデン(代表取締役 池内保朗)は、独自開発した次世代の制御盤製造方法「IWS」等が認められ、また、ライオンパワー(株)(代表取締役 高瀬敬士朗)は、新たに医療機器分野へ進出し、研究開発型企業へと転身したこと等が認められ、選定されました。

中小企業庁は、ITサービスの導入や経営資源の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインパウンド需要の取込み、多様な人材活動や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として選定している。

i 会員情報

◆新会員の紹介 平成29年1月26日開催の理事会にて承認された会員企業を掲載しています。

社名	代表者名	住所	業種	TEL/FAX
(株)川端商店	川端康之	能美市緑が丘10-122	その他の鉄鋼業	0761-21-0992/0761-21-3454
(有)新村鉄工	新村章二	金沢市金市町二38	金属加工機械製造業	076-258-1254/076-258-0525
(株)ソディック加賀事業所	江戸屋勝義	加賀市宮町力1-1	金属加工機械製造業	0761-75-2000/0761-72-5100
第一電機工業(株)	瀬戸和夫	金沢市森戸1-166	機械器具設置工事業	076-249-6221/076-240-7252
(有)早川鉄工所	早川勇治	羽咋郡宝達志水町小川3-164	金属加工機械製造業	0767-28-3388/0767-28-3206

◆代表者の変更 平成29年3月15日までに寄せいただいた内容を掲載しています。

社名	新代表者名	社名	新代表者名
(株)北村機器製作所	北村由貴子	二木整缶工業(株)	二木喜光
(株)紫光製作所	岩本信之		

平成29年度 協会スケジュール

開催日	内容
会 議	
4月13日(木)	広報・情報委員会
5月20日(土)	見本市委員会
6月22日(木)	正副会長会議・理事会・平成29年度通常総会
行 事	
5月17日(水)	MEX金沢2017記念講演会
5月18日(木)~20日(土)	MEX金沢2017(第55回機械工業見本市金沢)
6月21日(水)~23日(金)	Mfairバンコク2017ものづくり商談会参加

■事務局からのお知らせ

会員企業がメディア(テレビ・新聞など)に取り上げられた場合、協会ホームページなどで放送日時等を紹介させていただくことになりました。取材を受けられた場合は、協会までお知らせ下さい。

平成 29 年度 延払による機械設備貸与の 利子補給制度の拡充について

延払による機械設備貸与を利用して設備を導入した企業に対する、石川県、市・町の利子補給制度の一部が拡充されました。

【石川県の利子補給制度】

新要件の生産性向上支援分（0.25 % 上乘せ）の創設により、現行の助成率が最大 1.50 % のところ、平成 29 年度より最大 1.75 % に拡充されました。

助成率	小規模企業者	区 分	
0.50 %	0.75 %	一般分	
0.75 %	1.00 %	右記項目のいずれか一つ該当	(1) 生産性向上支援分 省力化などの生産性向上に繋がる設備投資を行った上で、人材育成、業務プロセスの改善に取り組む企業
1.00 %	1.25 %	右記項目のいずれか二つ該当	(2) 不況業種分 セーフティネット 5 号指定業種
1.25 %	1.50 %	右記項目のいずれか三つ該当	(3) 経営革新・連携・転換分 経営革新計画の承認を受け、新たな事業展開を行う企業等
1.50 %	1.75 %	右記項目のすべて該当	(4) 過疎・準過疎地域分 事業の主たる実施場所が下記地域 七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、穴水町、能登町、中能登町、宝達志水町、旧富来町、旧山中町、旧吉野谷村、旧鳥越村、旧白峰村、旧河内村

(1)と(2)の詳細については、当協会にお問合せ下さい。

【市・町の利子補給制度】

白山市 利子補給率 1.25 % ⇒ 1.50 % へ拡大
珠洲市 利子補給制度の新設 利子補給率 2.00 %

	利子補給率	・ 期 間	・ 年上限
能美市	1.00 %	・ 3 年間	・ 年上限 50 万円
小松市	1.25 %	・ 3 年間	・ 年上限 60 万円
加賀市・羽咋市・津幡町・宝達志水町	1.40 %	・ 3 年間	・ 年上限 60 万円
金沢市・白山市（* 拡充）・七尾市・志賀町・内灘町	1.50 %	・ 3 年間	・ 年上限 60 万円
穴水町・能登町	1.75 %	・ 3 年間	・ 年上限 60 万円
野々市市・かほく市・川北町・輪島市・珠洲市（* 新設）	2.00 %	・ 3 年間	・ 年上限 60 万円

【県（一般分 0.5 %）と各市町の利子補給を活用した場合の 3 年間の実質負担金利一覧】

	3 年間の実質負担金利
能美市	1.25 %
小松市	1.00 %
加賀市・羽咋市・津幡町・宝達志水町	0.85 %
金沢市・白山市（* 拡充）・七尾市・志賀町・内灘町	0.75 %
穴水町・能登町	0.50 %
野々市市・かほく市・川北町・輪島市・珠洲市（* 新設）	0.25 %

※詳細な利子補給内容は各市町の規定によりますので、当協会または各市町にお問合せ下さい。

「産業競争力強化に向けた高度専門 人材獲得促進事業補助金」のご案内

本事業は、厚生労働省、石川県からの補助を受け、新規事業の立ち上げや体制強化に向け人材の確保を検討している企業の皆様に、**県外からの移住者の雇用に要する経費の80%（上限額300万円/人）を支援する事業です。**

新分野進出や新製品の開発、生産工程の再構築、海外進出など企業の成長に向けた取り組みとして、経営企画や営業戦略の構築、新製品開発による市場開拓、製造や営業の中核となる人材の確保の採用をご検討の方は、同補助金をご利用ください。

産業競争力強化に向けた高度専門人材獲得促進事業補助金

事業内容	企業の成長をけん引する中核となる人材の確保を支援
補助対象企業	石川県内に本社機能を有する事業者
対象業種	鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、木材・木製品製造業（家具を除く）、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、窯業・土石製品製造業
対象者	実務経験を3年以上有し、県外企業を離職し、石川県に移住してくる者（1事業者につき2人まで）
対象経費	新規雇用に必要な人件費 雇用開始日から6ヶ月間の給料、赴任手当（雇用後に支給するものに限る）、扶養手当、精勤手当、通勤手当、残業代・休日手当・深夜手当等。 ただし賞与、事業主負担社会保険料等は除く。
対象期間	新規雇用を開始した日から6ヶ月以内（年度跨ぎ可）
スケジュール	計画書提出 → 採用決定 → 補助金交付申請書提出 → 補助金交付決定

お申込みについては、下記をご提出ください。必要書類（原本1部・コピー1部）

- ◆ 事業計画書
 - ◆ 履歴事項全部証明書
 - ◆ 県税納税証明書、最近2期分の決算関係書類（貸借対照表、損益計算書）
 - ◆ 会社概要（概要がわかる会社案内、パンフレット等）
 - ◆ 労働保険料・一時拠出金納付証明願の労働基準監督署受領印を押した写、労働保険（雇用保険、労災保険）の支払い証拠書類
- ※ 補助金交付申請額が予算額（1.3億円）を超えた場合は、その時点をもって交付申請の受付を終了します。
この場合、既に事業計画が受理されていても交付申請を行うことはできません。

- 募集要項・様式は石川県鉄工機電協会ホームページからダウンロードできます。
URL <http://www.tekkokiden.jp/kaiin/010/29-1.html>
- お申込み・お問い合わせは
TEL 076-268-0121 石川県鉄工機電協会 経営支援室：森田まで